

令和6年7月4日

東浦町議会議長 殿

経済建設委員会

委員長 大川 晃

副委員長 赤川操恵

委員 山下享司

委員 間瀬宗則

委員 森 靖広

## 経済建設委員会視察先検討結果書

### 1. 視察先選定に至る経緯

(1) 5月29日(水) 意見集約、候補地検討(LINEグループ) 全員参加委員長から委員全員に対して視察先・調査事項を検討することを指示。

各委員から以下9件の視察案件が提案される。

- スモールビジネス、個性で街に賑わいを(長野県辰野町)
- 自治体ライドシェア(神奈川県三浦市)
- 耕作放棄地の解消(埼玉県本庄市)
- カーボンニュートラルの取組(大阪府堺市)
- 非居住住宅利活用促進税条例の制定(京都府京都市)
- 北陸新幹線開業とライドシェア(石川県加賀市)
- 脱炭素とスマートシティ(石川県加賀市)
- Park-PFI(大阪府堺市)
- Park-PFI(広島県福山市)

(2) 5月30日(木) 意見集約、候補地検討、視察予定日の検討、事前資料の配信(LINEグループ) 全員参加

提案された9件から一人3件選択し、その結果下記の案件を候補地とした。

- 北陸新幹線開業とライドシェア(石川県加賀市)
- 脱炭素とスマートシティ(石川県加賀市)
- Park-PFI(大阪府堺市)
- カーボンニュートラルの取組(大阪府堺市)

一つの自治体で複数の先進的な取り組みをしている、石川県加賀市と大阪府堺市を候補地とすることにし、調査事項を検討することにした。

また、視察予定を二日間とし視察予定日を

- 10月2日（水）から10月3日（木）まで
  - 10月7日（月）から10月8日（火）まで
  - 10月23日（水）から10月24日（木）まで を候補とした。
- (3) 5月31日（金）意見集約、調査事項の選定を検討（LINE グループ）全員参加  
各委員から下記の意見が提出され検討の結果、調査事項を「自治体版ライドシェア」と「Park-PFI」とすることにした。
- (4) 6月16日（日）意見集約、質問等を検討（LINE グループ）全員参加。委員からの意見
- 「う・ら・ら」の他に住民の足として補填できる仕組みを検討したい
  - 実際にライドシェアを体験してみたい
  - 民業を圧迫せずに効率よく利用できる方法を模索したい
  - 三丁公園や再整備中の於大公園の運営を民間活力利用できないか検討したい
- (5) 6月17日（月）意見集約、視察先検討書の提出（第1委員会室）全員参加。  
自治体ライドシェアの石川県加賀市と Park-PFI の大阪府堺市を視察先として視察先検討書を提出。
- (6) 6月19日（水）調査事項と視察先の再検討、意見集約（LINE グループ）全員参加。  
Park-PFI は、全国的に実施しており、同様の公園規模で実施している自治体は県内にもあり、視察先を大阪府堺市とする正当性がない。改めて調査事項と視察先を検討することにした。
- (7) 6月20日（木）意見集約、視察先検討書の提出（LINE グループ）全員参加。  
調査事項を見直し、Park-PFI から空き家対策に変更し、京都府京都市を視察先として視察先検討書を提出。  
委員より視察案件として
- 非居住住宅利活用促進税条例の制定（京都府京都市）
  - 補助金や固定資産税の減免（鳥取県日南町）
  - 空家利活用センターの設置（群馬県前橋市）
  - 町内会等との協働による空き家等の適切な管理施策（新潟県妙高市）を提案された。

(8) 6月27日(木) 調査事項と視察先の再検討、意見集約(LINEグループ) 全員参加。

京都市が会期中(9月~11月)の視察の受け入れをしないとのことで視察先を見直し。

委員より新たな視察案件として

- 空き店舗も含めた活用方法(三重県津市)
- 空き家のバーチャル内覧ツアー(福井県坂井市)
- 空き家の見える化、空き家調査カルテの作成(富山県入善町)が提案され、視察先を福井県坂井市として検討書を提出。

(9) 7月2日(火) 調査事項と視察先の再検討、意見集約(LINEグループ) 全員参加。

石川県加賀市が10月の視察受け入れが一杯で受け入れできないとのことで視察先を石川県小松市として検討書を提出。

(10) 7月4日(水) 調査事項と視察先の再検討、意見集約(LINEグループ) 全員参加。

小松市が10月7日または8日の視察の受け入れを承諾されたが、福井県坂井市がこちらの日程での受け入れが出来ないとのことで視察先を見直し。

委員より新たな視察案件として、複数の空き家対策を実践している(石川県能美市)を新たに選出し検討書を提出。

2. 調査事項及び視察候補地検討の結果、下記の2ヶ所を候補地とすることにした。

候補地① 石川県小松市 自治体ライドシェア「i-Chan」の運行

候補地② 石川県能美市 複数の空き家対策の実践

3. 視察候補日(丸数字は優先順位)

①令和6年10月2日(水)から10月3日(木)まで

②令和6年10月7日(月)から10月8日(火)まで

③令和6年10月23日(水)から10月24日(木)まで

4. 調査事項の選定理由 ※どのような観点から本町にフィードバックできると判断し決定したのか。

(1) 「自治体ライドシェア」の選定理由。本町で運行の「う・ら・ら」は、10月にダイヤ改正を行います。路線の人口カバー率は95%となっていますが、地域によるニーズの違いもあり、住民のニーズに対応したダイヤや運行本数を確保することは大変に難しく苦慮している状況です。昨今、タクシー会社の人手不足を補うためにライドシェアが叫ばれ、実施し始めた自治体もあります。本町に

においても、自治体ライドシェアを導入することにより、住民の利便性を高めることが出来るのではないかと判断し選定した。

- (2) 「空き家対策」の選定理由。本町では、2008年から2013年までの間に「居住世帯なし」住宅は16.1%増加し、空き家対策は喫緊の課題である。空き家対策に対するいろいろな手法を調査し、空き家バンクに登録された家屋を住民に分かりやすく公表することや令和5年12月13日に施行された空家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正による影響も把握する必要性もあり、関連する条例制定や効果的な補助金制度の在り方を検討する必要があると判断し選定した。

## 5. 補欠候補地（丸数字は優先順位）

- (1) 「自治体ライドシェア」についての補欠候補地。

- ①神奈川県三浦市（神奈川版ライドシェア かなライド@みうら）
- ②石川県加賀市（自治体ライドシェア「Uber」アプリの活用）

- (2) 「空き家対策」についての補欠候補地

- ①富山県入善町（空き家の見える化、空き家調査カルテの作成）
- ②鳥取県日南町（補助金や固定資産税の減免）

## 6. 視察先の選定理由

- (1) 「自治体ライドシェア」について

### ◎石川県小松市

自治体ライドシェア「i-Chan」を全国初導入。市民や来訪者のほか、能登半島地震の被災者の方も利用対象者として運行を開始。利用時間帯を17時から24時までの市内全域としているが、周辺市までも乗り降りが可能としている。運賃を初乗り1kmまで400円以降、300mごとに100円としている。配車予約を「いれとく」という専用アプリを使用している。本町においても「う・ら・ら」が運行していない時間帯や「う・ら・ら」が運行していないエリアを補填する公共交通として利用可能と考えられます。支払いにペイペイが利用でき釣銭のトラブルがないキャッシュレス決済も参考になると考える。

### ① 神奈川県三浦市

神奈川版ライドシェア かなライド@みうらの実証実験中で、タクシーが減少する19時から深夜1時までを対象としている。一般ドライバーは市と契約し、運行管理、車両整備管理はタクシー会社が実施している。

### ② 石川県加賀市

自家用車を活用した地域の助け合いによる「加賀市版ライドシェア」で「Uber」初の自治体サービスである。利用対象の時間帯を 19 時から 23 時までを市内全域としている。運賃をタクシー料金の 8 割とし、予約・配車にウーバーイーツで知られる「Uber」のアプリを使用しているため、配車状況などが確認できる。

## (2) 「空き家対策」について

### ◎石川県能美市

空き家等対策事業を積極的に推進。能美市独自の政策として「空家等寄附受け補助事業」がある。これは空き家施策としては、全国的に珍しい、市が第三者に流通させることで空き家等の解消及び土地の流通を図っている。また、空き家清掃費等補助金や空き家等対策地域活動費補助金など積極的に補助制度を導入しており、本町の空き家対策に活かせるのではないかと考える。

### ① 富山県入善町

「空き家の見える化」として「空き家調査カルテ」を作成。空き家・空き地の特定調査(1次調査)を 126 ある行政区の各区長に依頼。その後、特定した空き家の損傷度等の判定調査(2次調査)と所有者の意向調査も加えて作成している。

### ② 鳥取県日南町

空き家バンク登録を通じて売買又は賃貸借契約が成立した空き家を対象とした「家財道具等処分補助金」や「老朽危険家屋等解体撤去補助金」「解体撤去に係る固定資産税の減免」などの施策を実施している。

## 7. 質問内容

### (1) 石川県小松市

- ・ライドシェアを導入した経緯について
- ・「いれとく」という専用アプリを選択した経緯について
- ・ライドシェアの登録者数と稼働実績(日数・稼働時間)について
- ・導入後の課題について
- ・利用者の内訳(住民・観光客・被災者)について

### (2) 石川県能美市

- ・「空き家流通促進事業」を導入した経緯および導入後の効果・反応について
- ・「空き家対策補助金」を積極的に導入しているが利用実績について
- ・「空き家等対策協議会」を立ち上げた経緯と役割について

## 8. 視察までの予定(勉強会の実施等)

- 議長に本書により報告し、議会事務局に視察先との調整を要請。
- 議会事務局より調整完了した視察先の報告を受け、議長に所管事務調査通知書を提出し、視察先に依頼文書を送付する。
- 各委員は事前資料をもとに自習する事を要請。
- 7月31日（水）午後に都市整備部都市計画課による「本町の空き家等対策計画の現況について」の勉強会を依頼。
- 委員による最終調整を令和6年9月に予定。